

「新しい前進」

会長 三品 優次



TAKIKAWA
ROTARY CLUB

本日は 第2915回 例会
プログラム
最近の景気動向と投資環境について
No.2740 2月26日(木)

次週以降の予定
3月5日(木) VTT委員会の活動について
3月12日(木) 滝川における国際交流事業について
3月19日(木) 日本近海における状況

第2914回 例会報告

2015年 2月19日(木)

会長挨拶・報告



私達の身のまわりには石油製品があふれています。経産省の調べによると、2011年時点で確認されている原油埋蔵量を2011年の原油生産量で割ると、あと54年程で原油を掘り尽くしてしまいそうです。そのため現在では、石油代替の研究が活発になっています。その研究の中で藻が代替油の有効候補になって来ました。ベンチャー企業のユーグレナと自動車会社が連携し、バイオディーゼル燃料の研究開発・製造と実証走行や性能試験を進めています。菜の花やゴマが種に油をため込む様に、藻のミドリムシは体内に油を蓄えます。大気中のCO2をミドリムシが吸収し、日光で光合成の結果、石油に近い油を精製することが出来ました。この油でいすゞの藤沢工場と最寄り駅を結ぶバスの燃料として利用が始まっています。ユーグレナという会社は、飛行機向けにバイオジェット燃料を研究していた会社だったが、飛行機以外にもバイオ燃料の実用化を模索していた所、いすゞから声が掛かった様です。藻は限られた面積で大量に培養することができるので、油を大量に生産できる可能性を秘めています。藻は人類の未来を救ってくれる時が来ると思っています。

幹事報告



渡辺 副幹事より代理
①、先週より出欠をとっておりますが、4月4日(土)赤平IMが開催されます。まだ提出していない方を含め多数の出席をお願いします。

委員会報告

親睦委員会 水原 勝之 委員長
本日6時よりベルコにおいて木曜フォーラムを行います。出欠の返事をされていない方は例会終了までお願いいたします。今回から会費が4,500円になります。よろしくお願いいたします。

武藤第2Gガバナー補佐 挨拶



赤平からまいりましたガバナー補佐の武藤でございます。本日参りましたのは、IMに関してでございます。詳しいことは、渡辺IM実行委員長が申し上げますので、何卒多くのご出席をよろしくお願いいたします。

渡辺IM実行委員長 挨拶



4月4日赤平でIMを開催するわけですが、滝川クラブの皆様一人でも多くご出席いただきたいと思います。12月に実行委員会を立ち上げまして、準備を進めています。今回のテーマは、

未来を託す子供たちへということで、特別講演は植松電機株式会社専務取締役の植松勤さまを予定しております。演題は「無理という言葉をなくしたい」でございます。懇親会も心を込めて接待申し上げます。会員一同丸となって準備をいたしますので、滝川クラブの皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。



先週のプログラム

《社会奉仕委員会担当例会》
— ゲスト卓話 —



社会奉仕委員会 松橋 和博 委員長

世界中で異常気象が叫ばれる中、国内も数年前からゲリラ豪雨や、昨年道内はもとより本州方面で起きた多数の犠牲者が出るような大きな土砂災害等、決して私達にも無縁ではられない事と思います。そんな気象災害などについて学び、我々の地域の防災意識を高めたく、本日、札幌管区気象台気象防災部気象防災情報調整官、輪島淳様にお越しいただき、気候と防災について講演をいただきます。

●経歴

輪島 淳様、年齢60歳。

昭和49年気象庁に採用され、その後、稚内地方気象台、函館海洋気象台、札幌管区気象台では、予報官として予報業務を行い、帯広測候所長を経て、平成26年から札幌管区気象台 気象防災情報調整官に就き、防災気象情報の活用について部外機関との調整等を行っています。

「空知の気候と防災」



札幌管区気象台気象防災部

気象防災情報調整官

輪島 淳 様

●本日のお話の内容

- ・滝川市の地域防災計画からみる自然災害
- ・大雨時の場合の住民の行動
～災害から身を守るために～

- ・空知の気候について
- ・地球温暖化による影響
～将来気候(2076年～2095年)～
- ・おわりに ～災害から身を守るために～

滝川市地域防災計画からみる自然災害 (S25年～H21年)



S29.9.26~9.27 強風、死者3名、重傷者14名、軽傷者64名(台風第15号)
S39.5.1 大火、強風(12m/s) 全焼56戸、半焼4戸、部分焼5戸(気圧の谷)
S56.8.3~8.6 豪雨、中小河川の氾濫、内水の滞留。(台風第12号、前線)
S63.8.24~8.27 大雨、高電圧送電線としては最悪の大規模被害(前線)
H16.9.1 強風、重傷者9名、軽傷者5名(台風第16号)

「56水害」昭和56年(1981年)8月3日～6日、8月23日
前線と台風第12号による大雨で、石狩川流域で河川はん濫、大規模な内水はん濫が発生。

21日～23日
死者7名、重傷12名、軽傷47名
被害家数1,134棟
被害家数27,257棟
被害家数2,704棟
被害救助は壊半(6市5町)

21日～23日
死者6名、重傷12名、軽傷47名
被害家数27,257棟
被害家数2,704棟
被害救助は壊半(6市5町)

奈井江町

竜巻災害

平成13(2001)年6月29日北竜町 F2
負傷者3名、住宅の半壊が2棟発生

平成18(2006)年11月7日松島町 F3
死者9名、負傷者31名、住宅全壊7棟

平成26年8月23日～24日
礼文町と利尻富士町で50年に一度の記録的な大雨

23日から24日にかけての48時間雨量は、礼文町香深で207.5ミリ。2003年10月の観測以降第1位。以前は134ミリ(2007年8月3日)が1位。礼文町で土砂崩れで2名の方が亡くなりました。

礼文町 土砂崩れによる家屋の全壊
(横内地方気象台撮影)

大雨の場合の住民の行動
～災害から身を守るために～

大雨
気象情報や空の変化に注意
約1日程度前大雨の可能性が高くなる
大雨に注意
気象情報
気象情報

大雨の場合の住民の行動
～災害から身を守るために～

数時間前～2時間程度前
大雨が予測
大雨が予測
大雨が予測

約1日程度前
大雨の可能性が高くなる
大雨に注意
気象情報
気象情報

数時間前～2時間程度前
大雨が予測
大雨が予測
大雨が予測

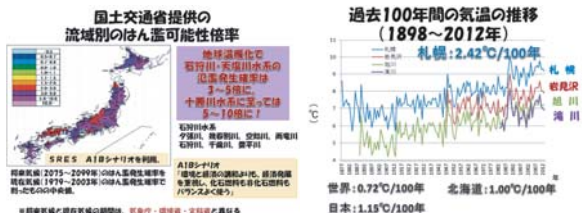
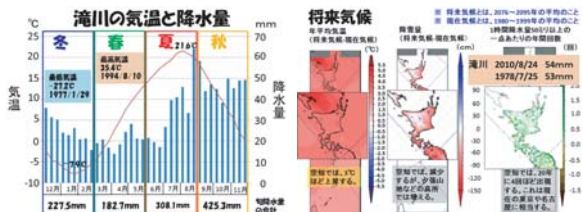
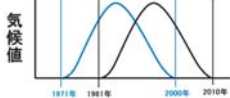


●空知の気候

気候は、南北に細長く続く内陸地帯のため、南部と北部、平野部と山岳部では気象状況が異なります。降水量は、夏から秋にかけて比較的多く、季節風の影響を受けて、冬の降雪量も多くなっています。

気候(climate: クライメート)とは

- 各地における長期にわたる気象(気温・降雨など)の平均状態。
- ふつう30年間の平均値を気候値とする。



- 空知における温暖化の影響
 - ・降水量はどうか？
年間全体で見ると「増加する」
 - ・降雪量はどうか？
秋口や春先に、降る雪が雨に変わる。冬の内陸部は、温暖化で水蒸気が増える分、雪は増える。
 - ・増加する健康リスク
デング熱を媒介する「ヒトスジシマカ」は、将来的には、北海道にも上陸する…と予測される。
 - おわりに～災害から身を守るために～
 - 一人一人が「守ります 人と自然とこの地球」(自助、共助)
 - 「支えます気象台、ともにスクラム組んで」(公助)
- 防災気象情報「早く、分かりやすく、確実に」危機感を

ニコニコBOX

武藤 哲雄ガバナー補佐(赤平RC)
IMのお願い。
渡部 芳己IM実行委員長(赤平RC)
IMの登録のお願い。
三品 優次会員
赤平市で開催のIMが成功する様に祈ってます。
向井 辰巳会員
親友の配慮に感謝して、遥のママ「山口恵子ちゃん」キャンセルしてゴメン。
和作 康市会員
結婚祝いを受けて。
渡邊 恭久会員
例会に武藤ガバナー補佐・渡部IM実行委員長をお迎えして。
佐々木弘彦会員
先日卓話を終えて有難うございました。時間オーバーして申し訳ありませんでした。
松橋 和博会員
担当例会を終えて。

会長／三品 優次
幹事／深澤 和範
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。